

財団法人 英語教育協議会

平成17年度（2005年度）事業報告・決算書

# 平成17年度(2005年度) 事業報告(抜粋)

## 1. 英語教育に関する研究

"Advisory Board" (委員長：小池生夫 明海大学教授、委員：和田稔 明海大学教授、金谷憲 東京学芸大学教授)を開催し、文部科学省「行動計画」研修の実施状況など英語教育の現状、ELECにて開催している英語教員に対する研修会の講師と内容、『英語展望』のテーマと執筆者、ELEC創立50周年事業計画、などについて助言をいただいた。

## 2. 英語教員に対する専門的な研修会の開催

### (1) ELEC英語教育研修会(The ELEC Seminars for English Teachers)

文部科学省後援のもとに、ELEC英語研修所にて中学・高校英語科教員を対象に、延べ26日間の英語教授法・指導法研修会を実施した。参加人数は延べ471名で、昭和32年以来の受講者累計は13,684名となった。

### (2) 文部科学省「行動計画」に基づく教員研修会支援事業

「『英語が使える日本人』の育成のための行動計画」(2003年、文部科学省)に基づく教育委員会主催英語教員悉皆研修の実施にあたり、東京都、栃木県、埼玉県、神奈川県及び仙台市教育委員会英語教員研修会に協力・支援を行った。

### (3) その他教育委員会主催 教員研修会支援事業

東京都、杉並区、埼玉県、各教育委員会主催の教員研修会に協力・支援を行った。

### (4) 文部科学省委嘱事業「英語指導力開発ワークショップ」支援事業

文部科学省は2005年度より中核的指導者養成を目指す「英語指導力開発ワークショップ」事業を立ち上げた。ELECは、宮城教育大学が実施主体となる上記事業の英語運用能力向上ための研修支援を実施した。

## 3. 一般成人に対する英語講習会等の開催

### (1) ELEC英語研修所(The ELEC Institute)

受講生へのサービスの一環として行っている下記の項目については、好評であったので、今後も続けていきたい。

1. 学期末に行われる補講レッスン。
2. 書籍を貸し出す「ミニ・ライブラリー」。
3. 宿題の送付。

総合英会話コース：

午前部 週1日コース(火/金/土)

午後部 週2日コース (月・水/火・木)  
週1日コース (木 /金/土)  
夜間部 週1日コース (月/火/水/木/金)

試験対策コース：

夜間部 TOEIC受験コース (火/金)  
TOEFL受験コース (火/金)

ビジネス英語コース

夜間部 ビジネス英語上級コース (火)  
ビジネス英語中級コース (金)  
ビジネス英語上級コース (土)

スキル・トピック別コース

リスニング (初級・中級) (火)  
ムービー (金)  
リスニング (中級) (金)

ディスカッションコース (中・上級) (金)  
ディスカッションコース (上級) (金)  
ディスカッションコース (上級) (土)

個人レッスン：

週1回 火、木 の午前 (1レッスン50分)  
週1回、月、火、水、木、金の午後 (1レッスン50分)

## (2) 企業内研修

本年度の企業内研修は合計37、その内訳は27の官公庁、企業と10の大学研修であった。18年目に入った江東区文化センターの研修は、6センターにて合計43講座(前年度41講座)を運営し、オリジナル教材も引き続き使用した。

## (3) 個人レッスン

個人レッスンを9名に対して実施した。

## (4) 英語力テスト

昨年度に引き続き企業研修のレベルチェックとしてSDT-IIを実施した。TOEICのIPテストを研修所内受講生、及び企業内研修に対して行った。

## (5) 英文添削

本年度の英文添削サービスの利用件数は個人16名並びに法人2社であった。依頼内容は主として海外大学院応募論文や研究論文の添削、中学/高校教材原稿などであった。

#### 4. 英語教育に関する資料の頒布

##### (1) 定期刊行物

『英語展望』（E L E C Bulletin） 第112号  
特集『変わろう英語教師、変えよう英語教育』

English Teaching FORUMの頒布 Vol.43 Nos. 1, 2, 3, 4

##### (2) 録音教材

昨年同様、諸教育団体、各種学校、出版社等のための語学教材等の録音を行った。

#### 5. 英語教育の研究に対する援助と助言

##### E L E C 賞

2005年度のE L E C賞は、厳正な審査の結果、下記に授与された。

A部門(実践記録)：甲斐 順氏（神奈川県立外語短期大学附属高等学校）

“How to encourage second language learners to become creative writers with the help of computers as portfolios”

B部門（研究論文）：該当者なし

応募論文は12編（実践記録7編、研究論文5編）であった。（前期：応募論文8篇 実践記録4編、研究論文4編）。

#### 6. 語学教育研究諸機関との連絡協力

諸大学、言語教育研究諸機関との間に、刊行物の相互交換を行った。また、「日本外国語教育改善協議会」にE L E Cの職員を参加させ、積極的に協力した。尚「日本外国語教育改善協議会」はELECほか主要英語教育研究団体及び高等学校ドイツ語教育研究会で構成され、外国語教育の現状に対する認識及び将来への展望に基づき改善策を講じアピールをまとめて行政機関に提言を行っている。

#### 7. その他の事業

##### 講演会

E L E C賞授与式・特別講演会において小泉仁氏（近畿大学語学教育部教授 元文部科学省初等中等教育局教科書調査官）による講演会を実施した。「変わろう英語教師 変えよう英語授業 --21世紀の英語教育を見すえて--」と題し、「『英語が使える日本人』の育成のための行動計画」への考察と今後への展望を、主に教員の資質向上、悉皆研修に焦点をあてお話しいただいた。

# 収 支 計 算 書

平成17年4月1日から平成18年3月31日まで

(単位:円)

科 目	予 算 額	決 算 額	差 異
I. 収入の部			
基本財産運用収入	23,900,000	25,161,170	-1,261,170
会費収入	0	0	0
事業収入	282,800,000	284,859,113	-2,059,113
寄付金収入	0	0	0
雑収入	11,000,000	17,011,101	-6,011,101
固定資産売却収入	17,605,000	112,402,580	-94,797,580
職員融資金戻り収入	0	0	0
保証金返還収入	0	0	0
当期収入合計 (A)	335,305,000	439,433,964	-104,128,964
前期繰越収支差額	46,000,000	50,251,193	-4,251,193
収入合計 (B)	381,305,000	489,685,157	-108,380,157
II. 支出の部			
事業費	245,933,000	240,713,907	5,219,093
管理費	82,372,000	87,941,691	-5,569,691
固定資産取得支出	0	100,914,000	-100,914,000
保証金支出	0	0	0
職員融資金支出	0	0	0
基本財産繰入金支出	0	9,348,000	-9,348,000
予備費	7,000,000	0	7,000,000
当期支出合計 (C)	335,305,000	438,917,598	-103,612,598
当期収支差額 (A-C)	0	516,366	-516,366
次期繰越収支差額 (B-C)	46,000,000	50,767,559	-4,767,559

## 正味財産増減計算書

平成17年4月1日から平成18年3月31日まで

(単位:円)

科 目	金 額	
I 増加の部		
1. 資産増加額	111,560,823	
2. 負債減少額	0	
増加額合計		111,560,823
II 減少の部		
1. 資産減少額	112,402,580	
2. 負債増加額	5,555,000	
減少額合計		117,957,580
当期正味財産減少額		6,396,757
前期繰越正味財産額		1,252,353,496
期末正味財産合計額		1,245,956,739

## 貸 借 対 照 表

平成18年3月31日

(単位:円)

科 目	金 額	
I 資産の部		
1. 流動資産	86,498,515	
2. 固定資産	1,263,544,282	
基本財産	(911,348,000)	
その他の固定資産	(352,196,282)	
資産合計		1,350,042,797
II 負債の部		
1. 流動負債	27,448,058	
2. 固定負債	76,638,000	
負債合計		104,086,058
III 正味財産の部		
正味財産		1,245,956,739
(内基本金)		(911,348,000)
(内当期正味財産減少額)		(6,396,757)
負債及び正味財産合計		1,350,042,797

# 財 産 目 録

平成18年3月31日

(単位:円)

科 目	金 額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金	353,876		
預金	28,297,825		
受取手形	1,040,550		
売掛金	36,082,813		
仮払金	3,037		
前払金	3,686,102		
未収金	8,751,414		
商品	8,282,898		
流動資産合計		86,498,515	
2. 固定資産			
基本財産			
預金・国債	911,348,000		
基本財産合計	911,348,000		
その他の固定資産			
設備	97,494,129		
備品	43,505,532		
投資有価証券	171,573,581		
職員融資金	0		
保証金	39,623,040		
その他の固定資産合計	352,196,282		
固定資産合計		1,263,544,282	
資産合計			1,350,042,797
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	21,424,358		
前受金	3,854,220		
買掛金	1,101,763		
預り金	1,067,717		
流動負債合計		27,448,058	
2. 固定負債			
退職給与引当金	76,638,000		
固定負債合計		76,638,000	
負債合計			104,086,058
正味財産			1,245,956,739